

年頭ごあいさつ

「ぎょさい」でつなぐ漁業の未来

全国漁業共済組合連合会
会長理事 中島剛隆

全国の漁村の皆様、明けましておめでとうございます。

西暦二〇〇〇年を迎えました今、わが国の漁業界は新しい資源管理時代の到来をめざし、水産資源の維持管理と適正利用に向けた取り組みを進めつつあります。

その一方では、引き続く魚価の低迷や漁業資源水準の低下などによる漁獲金額の減少、また毎年のように発生する台風・赤潮・魚病などの漁業災害により、漁業経営は不安定な状況に置かれています。

「ぎょさい」は昭和三十九年以来、国の水産政策の一環として漁業災害補償法に基づき実施されてきており、漁業者の相互扶助の理念のもと漁業経営安定対策として、また災害対策として長年にわたり重要な役割を果たしてまいりました。特に、漁業と漁村をとりまく環境が厳しさを増している現在、漁業経営を守り支える「ぎょさい」に対する期待が一層の高まりをみていることが痛感させられます。

このような情勢のもと、平成十一年度には「ぎょさい」のより一層の加入拡大を期した新しい全国運動『パワーアップぎょさい21』がスタートし、行政機関、漁協系統、漁業共済団体が一体となり、加入拡大と制度充実にむけた取り組みが活発に展開されています。加えて、国はこの運動に対する支援の強化を各都道府県に要請し、これに呼応して都道府県庁、市町村におきましては、掛金助成をはじめ「ぎょさい」の加入拡大に向けた施策が積極的に進められています。

『パワーアップぎょさい21』全国運動の展開におきましては、「ぎょさいでつなぐ漁業の未来」を合言葉に、漁業経営対策の柱としての「ぎょさい」を強力にアピールし、さらなる加入の普遍化を期するとともに、制度の一層の拡充強化と事業基盤の確立に全力で取り組みたいと存じます。

新時代の漁業と漁村づくりに「ぎょさい」がますますの貢献ができますよう、今年も皆様と相携えて、幾多の懸案の解決にむけ力強く前進してまいりたいと存じます。